

この説明文書はお薬とともに保管し、ご使用の際には必ずお読みください。

便秘、便秘に伴う肌あれ・吹出物などに
便秘薬

第2類医薬品

ワクレッシュ

製品の特徴

ワクレッシュは、飲みやすい小さな丸剤で、症状にあわせて服用量を調節することができる便秘薬です。丸剤には腸溶性のコーティングが施しており、有効成分が腸内で溶け出し、直接腸に作用します。かんだり、つぶしたりせずにそのまま服用してください。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。
他の瀉下薬(下剤)
2. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。
3. 大量に服用しないでください。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
(1) 医師の治療を受けている人
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
(4) 次の症状のある人 はげしい腹痛、吐き気・嘔吐
 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
- | 関係部位 | 症 状 |
|------|---------------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消化器 | はげしい腹痛、吐き気・嘔吐 |
3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
下痢
 4. 1週間位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

- 便秘
- 便秘に伴う次の症状の緩和:
頭重、のぼせ、肌あれ、吹出物、食欲不振(食欲減退)、腹部膨満、腸内異常発酵、痔

用法・用量

1回下記量を、1日2回を限度とし、なるべく空腹時に水又はお湯と一緒に服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。ただし、初回は最小量を用い、便通の具合や状態をみながら少しずつ増量又は減量してください。

年 齢	1 回 量	1日服用回数
大人(15才以上)	8 ～16丸	2回
11才以上15才未満	5 ～10丸	
7 才以上11才未満	4 ～ 8 丸	
3 才以上 7 才未満	3 ～ 5 丸	
3 才未満	服用させないでください	

計量には添付のスプーンを使用してください。(瓶包装)

(裏面へつづく)

<用法・用量に関する注意>

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2) 3才以上の幼児に服用させる場合には、薬剤がのどにつかえることのないよう、よく注意してください。
- (3) 本剤は腸溶性製剤のため、かんだり、つぶしたりせずにそのまま服用してください。また、制酸剤やミルクとの併用はさけてください。(制酸剤やミルクにより、本剤が胃内で溶解し、効果が充分発揮できないことがあります。)

成分とはたらき

成 分	分 量 (32丸中)	はたらき
ピサコジル	15mg	腸の排便反射を刺激し、また、腸管からの水分吸収をおさえ、便秘を改善します。
ダイオウ乾燥エキス (原生薬換算量1.5g)	240mg	有効成分のセンノシドが腸の動きを活発にし、排便を促します。
カンゾウ末	375mg	ダイオウの働きを助けるとともに、腸管内の水分を保持します。
シャクヤク末	500mg	カンゾウと協力し、便秘に伴う不快感を改善します。
コウボク末	250mg	胃腸機能の衰えによる腹部膨満を改善し、また、のぼせをおさえます。

添加物として、バレイショデンプン、寒梅粉、ヒプロメロースフタル酸エステル、クエン酸トリエチルを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に(瓶包装の場合は密栓して)保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 1包を分割して服用した残りは、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。(分包包装)
- (5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。
- (6) ビンの詰め物は、輸送中の内容物の破損を防ぐためのものです。開封後は不要となりますので、取りのぞいてください。(瓶包装)

●ワンポイント情報

便秘の予防と解消のためには、まずは生活習慣の改善が大切です。食物繊維と水を十分にとること、便意を我慢しないこと。特に朝食後がもっとも便意が起きやすい時間ですので、ゆとりを持って朝の時間を過ごしましょう。

それでも改善しないしつこい便秘には、便秘薬を上手に使うことも大切です。便秘薬の必要量は便通の具合や体質によって異なります。少ない量から始めて、自分にあった量に調節していきましょう。



お問い合わせ先

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店又は下記までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

湧永製薬株式会社 お客様相談室

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2丁目5-1

☎03-3293-3363

受付時間 9時～12時、13時～17時(土、日、祝日を除く)



販売元

湧永製薬株式会社

広島県安芸高田市甲田町下甲立1624
本社：大阪市淀川区宮原4丁目5-36
<http://www.wakunaga.co.jp/>

製造販売元

国産薬品工業株式会社

岐阜市秋沢370番2